～能代地域生活支援センター　児童発達支援～

事業者向け　　児童発達支援自己評価集計表結果

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・利用児の増加により小集団にしたり、活動内容によっては広い部屋を利活用しています
	②	職員の配置数は適切であるか	8		・利用児の特性に応じて可視化で活動の流れを分かりやすくしております。また、個別指導の部屋を固定して同じ環境で安心して臨めるようにしています。 ・契約数が増えたことで、兼務職員増で対応しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・全体、個人に向けた構造化をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		・本棚整理や、玩具の消毒等に配慮しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		・日々の振り返りの中で、今その子にどんな支援が必要か声に出し、次に繋げるための支援法を深堀りしていくよう心掛けています。 ・対応の仕方、言葉選び等適宜振り返りの中で共有しています。 ・個々の思いや考えを話せるような環境雰囲気になっています。 ・努力はしています。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	8		・努力はしていますが、マニュアルの提示やペアレントトレーニングについての情報を伝えていく必要があると思います。
	⑦	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表している	8		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	・時間の確保が難しいが、限られた中で日々の業務でどう活かしていけるか考え動いています。 ・研修参加者よりの所内研修も行っています。 ・日々の情報共有に努めていますが、研修の場の確保はなかなか難しいです。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・児発管が現場職員とコミュニケーションを図りながら、適切且つ客観的に作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	・視覚的（絵カード等）に見通しを持てるようにしたり、数字で順番に行えるようにしています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		
	⑯	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・朝のミーティングや、適宜必要時に、担当児童や、プログラム（活動内容）等の確認をしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・必ず終了後は振り返りを行い、意見交換をし次へ活かすようにしています。

	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・個別日誌や課題の内容を記録し、支援に役立てています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		
	㉓	（医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	3	・今年度から利用されているので、関係機関との関わりはこれから必要になってくると思われます（ケアは母が行っています。）ので、体制を整え、対応していきたいと思います。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		8	・母子通園の為、今は体制の確立はできていません。（ケアは母が行っています）
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・幼稚園等への見学、センターでの見学で児童の状態把握や情報共有を行い、相互理解に努めています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・地域の小学校、支援学校への見学等で保護者、学校との情報共有に努めています。
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		8	・専門機関が近くになく、そのような機会もなかなかないです。

	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8	
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		8	・総合支援協議会には児童部会がありません。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・個別支援後に状況を伝え、更に家庭での様子、気になること等共有し、相互理解に心掛けています。 ・母子分離中や個別支援後の時間を有効活用して、話す機会を意識して持つようにしています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		8	・保護者への具体的な支援は行っていないが、研修に参加し、事業所内研修をしています。 ・研修は受けているので、徐々に保護者支援に活かせていければと思います。 ・アドバイスや助言は出来ていますが、ペアレントトレーニングとしては行っていません。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・相談時は傾聴し、解答が難しい時は児発管や管理者への相談を勧めています。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		8	・保護者会等は設置されていません。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・児発管を中心に、適宜適切に対応させてもらっています。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	・年２回事業所全体の会報と、毎月の児童用月案を発行しています。

	㊳	個人情報に十分に注意しているか	8		
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		・視覚的に分かりやすいように（絵カード等）しています。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8	・コロナの関係で、大きな行事は出来ませんでした。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	・マニュアルは策定していますが、周知の仕方に工夫が必要と思われます。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		
	㊸	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7	1	・事前の情報資料で、確認しています。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		8	・保護者より聴き取り確認し、記載しています。 ・食事対応はしていませんが、必要になれば体制は整えていきます。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		・ヒヤリハットや、事故が起きた際には検討会を行い、職員間で共有し、再発防止に努めています。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	・毎月チェックリストで確認し、個々に聞き取りをして対応しています。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		・対象児童の保護者に説明をして計画に記載しています。また、必要に応じて職員間でカンファレンスを行い、対応の共有をしています。 ・児童発達支援管理責任者が十分に説明をしています。